



タスマニア・ウイスキー ヘリヤーズ・ロード について

経済誌 Modern Business 2016年11月号に
記載された記事の一部をご紹介します。
醸造責任者Mark Littler氏とのインタビュー内容です。



Mark Littler氏

ヘリヤーズ・ロード社はタスマニア北部のBurnieが発祥地です。

1827年：背の高い雑草が生い茂る獣道を、探検家であり地図制作者であるヘンリー・ヘリヤーが大自然の風、空気、水、土壌に恵まれたこの地の開拓に着手しました。この完璧な自然の恵みを理解した酪農家グループが後年、ウイスキーの醸造を始め、ヘンリー・ヘリヤー氏の功績をたたえて、ヘリヤーズ・ロードと銘々したものです。

1994年：タスマニア最大のミルク製造者、Betta Milkの全額出資により潤沢な資金を得て素晴らしい品質の果実、飲料、そしてシングルモルト ウイスキーの製造に発展して来ました。

2006年：最低7年間の樽熟が必要との判断から、最初のウイスキーをリリースしました。

2010年：オーストラリア モルトウイスキー協会により、オーストラリア ベスト ウイスキーに選ばれました。

2013年：パリでのブラインドテイステイングで「PINOT NOIR FINISH」がベストニューワールド ウイスキー賞を受賞しました。

2015年：21カ国にまで輸出が拡大し、日本にも販売を始めることができました。

シングル・モルト・ウイスキー以外の商品について

1：高級ウイスキークリーム・リキュール
5年熟成のシングル・モルトにタスマニア産のフレッシュクリームをブレンドしたリキュール

2：”Southern Lights”ブランドの大麥から造られるウオッカ
レモン、オレンジ、アップルのフレーバーのあるウオッカで現在、蒸留所訪問者とオン・ラインでのみの販売をしています。

3：シェリー樽で熟成されたシングル・モルトウイスキー
2014年にスペインより120樽のシェリー樽を輸入し7年後にリリースの予定です。更に素晴らしい、シングル・モルトウイスキーをお届けできるものと確信しています。

終わりに

ヘリヤーズロードは、創立間もなく、まだまだ、小規模な蒸留所です。Passion and Pride(情熱と誇り)を持って世界にも希少な自然の恵みと共生しながら努力を続けます。

自然の恵みを最大限生かし
絶え間ない努力で優れた品質の
ウイスキーを日々生み出しています。

So many enjoyed,
so few remain.

AVAILABLE AT
THE CELLAR DOOR
AND DUTY-FREE.

ORIGINAL

AGED
12
YEARS

